

2017年5月31日

各位

株式会社 三井住友銀行

株式会社ODAホールディングスに「SMB Cなでしこ融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ODAホールディングス（代表取締役：尾田 信夫）に対し、「SMB Cなでしこ融資」を実施致しました。

「SMB Cなでしこ融資」は、融資実行時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ODAホールディングスの主要事業会社である株式会社キャメル珈琲（KALDI COFFEE FARMの運営会社）に対する診断結果は、「今後、女性活躍が期待できるグロース企業」となりました。

特に、株式会社キャメル珈琲では、以下のような取組みを展開しておられます。

1986年の1号店開店時から、継続して女性による積極的な店舗運営や商品企画を進めてきた結果、正社員に占める女性の割合90%、管理職に占める女性比率72%と幅広い職位において高水準での女性の登用を実現。（2017年2月末時点）

会社独自の子育て支援制度「MaMaDI」において、ハンドブックの配布等を通じて産前・産後休業や育児休業の取得等、子育てと仕事との両立を真剣に考える従業員を積極的に支援。

非正規社員から正社員への人事登用制度を積極的に活用し、近年では平均して毎月5名程度が正社員へ登用。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向けて、経営トップが、「女性が継続して活躍できる雇用環境の整備を行うこと」と宣言し、具体的な取組みの進化に向けた目標として、2022年12月までに以下をコミットしておられます。

働きやすい職場風土を醸成し、女性管理職割合のさらなる向上を図る。

職業生活と家庭生活との両立を支援するため、女性従業員の育児休業取得率を80%以上に、男性従業員の育児休業を目標期日までに1人以上とする。

三井住友銀行では、「SMB Cなでしこ融資」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組みを、金融を通じて応援してまいります。

（ ）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）に業務を委託しております。



女性が働きやすい職場風土



賑やかな店舗づくり（当社幕張新都心店）

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。